

令和3年度 教育指導の充実に関する研究グループ

活動報告

1 教育指導グループ組織

	小 学 校		中 学 校	
	氏名	学校名	氏名	学校名
主任		智恵文小		
副主任		風連中央小		
委員		名寄東小		
研究主任		名寄南小		
研究委員		名寄西小		風連中
		名寄南小		名寄中
		名寄小		名寄東中
		名寄南小		智恵文中
		名寄東小		風連中
		名寄西小		
		中名寄小		
		智恵文小		
		風連中央小		

2 研究内容

	研究項目	分担
1	I C Tを日常的に活用した教育活動の工夫・改善 (MDMの研修、情報交流)	
2	個別最適な学びと協働的な学びの実現に資する1人1台端末を活用した指導方法や教材等の工夫・改善 (含プログラミング教育の充実) (授業における実践の公開、実践交流、資料収集)	
3	教職員のニーズに応じた I C T活用研修等の計画的な実施 (教職員向け研修会…ロイロノート、グーグルワークスペース等)	
4	名寄市学校教育情報化推進委員会と連携した I C T環境の整備・活用等	

3 今年度の活動経過

年	月	日	主な内容	備考
3	4	27	<input type="checkbox"/> 第1回教育改善プロジェクト委員会全体会議 <input type="checkbox"/> 第1回研究グループ会議 (今年度の研究内容・計画、役割分担等について確認)	文化センター大会議室
	5	19 28	<input type="checkbox"/> 研修 ロイロノートスクールを用いた管理面研修 <input type="checkbox"/> 研修 ロイロノートスクールを用いた操作面研修 各校の委員による日常実践や課題等の交流・改善	Zoomによるオンライン

6	11	○名寄市立小中学校ICT活用状況調査	共有ドライブ
7	9	□ICT活用授業公開・研修会兼名寄市学校教育情報化推進委員会 兼学校力向上に関する総合実践事業における第2回（ICTの 効果的な活用）名寄市地域協議会 ○各学校でのICT機器使用状況把握 ○各校の困り感の交流と解決策について（共有ドライブ）	名寄南小
8		○各校の端末使用についてのきまりの交流	共有ドライブ
9	17	□授業公開 ICT機器を活用した授業（録画） 名寄南小4年1組 森教諭 道徳「梨の実-アソリ=ファール」	名寄南小
10		○各学校でのICT機器使用状況把握 ○各校の困り感の交流と解決策について	共有ドライブ
11	5	□第2回教育改善プロジェクト委員会グループ会議 ○公開授業の反省 ○各校の困り感の交流と解決策 ○フィルタリングやユーザーエクスペリエンス等の設定 ○風連中の遠隔学習の報告 ○ICT支援員の活用状況 ○研究のまとめに向けて □名寄市教育研究大会	名寄南小 名寄西小、名寄中
12	10	□第3回教育改善プロジェクト委員会全体会議・グループ会議 <取組のまとめ、研究の成果と課題の提示、次年度について>	名寄南小 →紙面開催
4	1	25 □名寄市教育研究集会	EN-RAYホール

4 今年度の活動

(1) ICTを日常的に活用した教育活動の工夫・改善

資料1

- 1) 市内各校の悩みや取組の情報を共有できる場の設定
 - ①タブレット端末の保管について
 - ②アプリの使用について
 - ③教員間の格差について
 - ④不登校、オンライン授業について
- 2) 授業での場面ごとの活用例の作成
 - ①タブレット端末の活用場面（例）の提示
 - ②ICT授業活用実践事例共有シートの共有

(2) 個別最適な学びと協働的な学びの実現に資する1人1台端末を活用した指導方法や教材等の工夫・改善（含プログラミング教育の充実）

資料2・3

- 1) 端末使用のルールと基本的な使い方の指導
 - ①タブレット端末使用初期指導について
 - ②タブレット端末指導の一日の流れの確認
 - ③活用の基本の確認
- 2) 1人1台端末の日常化
 - ①安全に使うためのきまりの確認
 - ②情報モラルの徹底

- ③クラウドを活用した健康観察と朝の連絡
- 3) Chromebook活用年間実践プランとプログラミング教育カリキュラムの整備
 - ①各アプリで目指す力の確認（学年ごと）

(3) 教職員のニーズに応じたICT活用研修等の計画的な実施 資料4

- 1) ICT活用研修会
 - ①ロイロノートを用いた管理面の研修
 - ②ロイロノートの用いた操作面の研修
- 2) 名寄市立小中学校ICT活用状況調査
クラウドを用いて、各校の日常実践や課題等を交流
 - ・アカウントの設定状況
 - ・セキュリティー環境について
 - ・ネット環境の状況と端末の使用状況
- 3) 各学校の研修
 - ①校内の端末の管理・使用のガイドライン等の整備に係わる研修
 - ②アプリケーションの活用方法に関する研修
 - ・Googleアプリ（Classroom、Fome、Jamboard、Meet等）の活用
 - ・ロイロノートスクールの活用
 - ③ICTを効果的に活用するための授業実践研修
 - ④ICTを校務で効率的に活用するための研修

(4) 名寄市学校教育情報化推進委員会と連携した ICT環境の整備・活用等 資料5

- 1) 名寄市情報化推進計画の策定
 - 基本方針1 ICTを活用した効果的な環境の工夫と情報活用能力の育成**
 - ①ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの充実を目指した授業改善
 - ②児童生徒の特性やニーズに応じたICTの活用促進
 - ③ICT活用指導力向上のための教職員研修の充実
 - ④プログラミング的思考力の育成に向けた授業の充実
 - ⑤主体的にこれからの社会に参画する態度と情報モラルの育成

基本方針2 教職員の校務の情報化による教育の質の向上

- ①統合型校務支援システムの利活用による校務の効率化と児童生徒と向き合う時間の創出
- ②教育版の情報セキュリティポリシーのガイドライン運用改善と情報セキュリティ対策の徹底
- ③ICT活用による教職員の働き方改革のための環境整備

基本方針3 教育活動を支えるICT環境の基盤整備と運用の充実

- ①ICT環境の維持・管理・更新
- ②ICT支援員等による学校サポート体制の構築

- 2) GIGAスクール構想のハード面継続協議

令和4年度ICT関連予算の予算要求

- ①児童生徒タブレット管理機材
- ②オンライン授業配信対応機材
- ③その他

5 成果と課題

【成果】

- 各校端末の使用ルールを共有することで、一日の端末活用の流れが明確になり、急速に活用が進み、全ての学校、全ての学級でタブレットの積極的な活用が見られた。
- 児童や生徒が積極的に学ぶ姿勢が見られた。タブレットを活用することで発言が苦手な児童、生徒も取り残されることなく学習に参加できており、授業での積極的活用から、効果的活用にステップアップが図られた。
- ICT活用研修を行うことにより、教員のスキルアップが図られた。
- 日常の困り感や悩み、活用状況を共有（含クラウド）することで、各校の状況がすぐわかり、グループ内の教員が困り感を抱えている学校に出向いたり、進んでいる学校の視察に訪れたりするなど、サポート体制を取ることができた。また、ICT支援員の活用が進んだ。

【課題（次年度に向けて）】

- ▲ドメインやアカウントの管理や運用、設定等はICT支援員の協力が不可欠である。
- ▲機器の家庭への持ち帰りについてや機器の破損・故障について、補償責任を明確にする必要がある。
- ▲現状ではIT機器を得意としている教員とそうでない教員との指導の格差が広がりつつある。今後、異動して来る教員へのサポート、研修など教員側のITリテラシーの向上を図る必要がある。
- ▲遠隔授業時や集中アクセスに対応できるWi-Fi環境のさらなる整備やセキュリティーホールへの対策について進める必要がある。